

まちのわだい



大規模地震を想定した避難訓練

伯耆町防災の日一斉訓練

伯耆町全域を対象とした避難訓練が、9月29日に実施されました。これは、町民の防災意識の高揚と災害時の迅速な対応を目指して、伯耆町区長協議会が毎年実施しています。当日は午前8時のサイレンを合図に、町内64集落、3,110人が、集落が指定した避難場所へ避難を開始。「非常持出袋」を持って避難される方の姿もありました。

今回の訓練では、放送センターと連携し、災害時における町民に向けた試験放送も実施。今年度導入した緊急放送を発信しました。

また避難終了後に、放水訓練や非常食の試食などを行った集落もあり、貴重な体験となりました。

災害は、無いに越したことはありませんが、万一のためにも日ごろからの訓練が必要だと感じた1日でした。



自主放送チャンネルで緊急放送を実施



血圧測定を受ける避難者

秋の日光路を駆け抜ける

伯耆町駅伝大会

体育の日の10月14日、日光小学校を発着とする第9回伯耆町駅伝大会が開催され、48チーム240人が日光路を駆け抜けました。

開会式では選手を代表して、日光小学校の内藤重玖爽さんが「日頃の練習の成果を十二分に発揮し、最後まで走りぬくことを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

コースは、1、3区が1.5km、2、4区は1.7km、アンカーの5区は、1.8kmで、全長8.2kmでタスキをつなぎます。

沿道や中継所には多くの応援団が集まり、力走するランナーに大きな声援を送っていました。また、ゴールした選手には、日光女性会の皆さんが用意した、地元野菜たっぷりの豚汁が振る舞われ、疲れた体を癒していました。



首位を争う熱い戦い



日光女性会による豚汁のおもてなし

森の恵みを学ぶ

森林施業体験教室

豊かな森林を守り育てることの大切さを子どもたちに伝えるため、森林施業体験教室が10月11日に八郷小学校で開催され、町内の小学4年生94人が参加しました。

この日は、あいにくの雨模様となり、枝打ち体験や森林観察はできませんでしたが、コースターづくりや大山のおはなしをとおして、森林について学びました。

コースターづくりでは、丸太を切る作業からとりかかりました。のこぎりの扱いに不慣れな子どもたちが多かったですが、大人の助けを受けながら、満足のいくコースターが完成したようです。



大山の自然環境について学びました。



みんなで協力して丸太を切ります。

自然エネルギーの有効活用へ

メガソーラー発電所竣工式

上野に建設が進められていた大規模太陽光発電施設が完成し、10月7日に竣工式が行われました。

この日竣工を迎えた発電施設は、米子市で太陽光発電などの販売施工を手掛けるミヨシ産業が、昨年从上野の大平原工業団地に建設を進めていたものです。24,250㎡の敷地に、1枚192.5Wの発電能力を持つパネルが5,256枚設置されています。

竣工式では、ミヨシ産業の谷野社長が「東日本大震災以降、再生可能エネルギーが注目されている。この発電所が地域の人たちに、できてよかった喜んでもらえるよう努めたい」と抱負を語りました。

ミヨシ産業では、発電所の稼働により、年間およそ4,500万円の売電収入を見込んでおり、町への土地借り上げ料は、年額で270万円となります。



関係者によるテープカット



雪害対策済みのソーラーパネル群